

芸術

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	美術Ⅲ	2	3年次・I 2群	自由選択

目 標		履修の条件・連絡			
1 表現のための発展的な知識や技能を身に付ける。 2 表現意欲・美的感性を伸ばし、豊かな表現力を養う。 3 表現と鑑賞を通して、生涯にわたり美術を愛好し、美術文化を理解する。		・2年次で美術Ⅱを履修しておくこと。			
使用教科書 (出版社)		高校生の美術3 (日本文教出版株式会社)		副教材 (準備物)	
		(アクリル絵の具) (筆・パレット)			
学 習 の 年 間 計 画	期	月	学習内容(単元・項目)	学習のねらい	
	1 学 期	4月	1 オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>美術Ⅲの授業内容を説明し、美術Ⅲで学ぶ目的意識を明確にする。</li> <li>教科書を基に、人気の高いフィギュアなどの彫刻作品を鑑賞し、精密さや躍動感が感じられる要素について理解する。</li> <li>芯材の作り方や、石粉粘土の肉付け方について、体験しながら学習する。</li> <li>モチーフとする動物を決め、ポーズや土台の有無などの構想を練る。</li> <li>芯材を丈夫に制作し、ひび割れや欠けを防ぐよう工夫する。</li> <li>表面の丁寧な仕上げで、精密な造形を追求する。</li> </ul>	
		5月	2 精密な立体造形(動物のフィギュア) (1) 鑑賞		
		6月	(2) 制作技法の体験 (3) 構想 (4) 制作		
2 学 期	9月	3 多様な描画技法1(点描によるペン画) (1) 制作技法の体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーン一本を使用して豊かな表現ができることを、体験しながら学ぶ。</li> <li>モチーフを選定し、明暗・濃淡に注意してデッサンを行う。</li> <li>ペンによる点描の密度で濃淡を表現する。</li> <li>全体のバランスを見ながら丁寧に仕上げる。</li> </ul>		
	10月	(2) 構想			
	11月	(3) 制作			
12月	4 多様な描画技法2(色鉛筆による精密画) (1) 制作技法の体験	<ul style="list-style-type: none"> <li>色鉛筆だけでリアルな精密描写ができることを学ぶ。</li> <li>技法を体験し習得する。</li> </ul>			
学 習 評 価	観点	美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	規 準	美術表現・鑑賞に関心を持っているか。 表現する意欲があり、主体的に制作に取り組む態度をもっているか。	テーマを把握し主題や構成など、独自の発想で構想を練っているか。 表現のために、材料の選択や技法の用い方を工夫しているか。	意図に応じた表現のために、必要な材料の扱い方や、表現技法を身に付けているか。	美術作品から感じたことに丁寧に向き合い、理解しようとしているか。 美術作品についての特徴や位置付け、自分の考えを述べているか。
	手 段	・制作の様子 ・ワークシート	・制作の様子 ・ワークシート・作品	・制作の様子 ・ワークシート・作品	・鑑賞の様子 ・レポート
	各学期や年間の学習状況の評価方法	・作品の出来具合や授業態度などを総合的に判断して評価する。 ・定期考査は行わない。学期ごとに実技点・レポート・平常点を6:2:2の割合で評価する。			
学習上の留意点	・様々な材料を必要とするため教材費(1000円程度)を徴収する。 ・定期考査は行わないので、積極的に授業に参加し、作品を必ず完成させること。 ・実習が中心であるので、完成するまで根気や集中力が必要である。				